

カリキュラム

1日目

- 9:10-10:40 必須1 地域理学療法概説
「地域リハの全体像と考え方」
- 10:50-12:20 必須2 地域理学療法に関わる制度
「地域リハに関連する分野の制度」
- 13:00-14:30 必須4 地域理学療法における理学療法評価
「ICF評価の理解と活用」
- 14:40-16:10 必須5 プライマリ・ケアにおける他職種の役割
「暮らしを支える医療のあり方」
- 16:20-17:50 必須11 終末期における理学療法
「納得できる(後悔のない)最期への支援」

2日目

- 9:10-10:40 必須6 訪問介護員、介護支援専門員の役割
「生活を支える関連職種」
- 10:50-12:20 選択1 ヘルパー、訪問看護師が行う介助方法の実際
「専門職を支える専門職の役割」
- 13:00-14:30 必須14 患者(利用者)・家族教育の意義とその方法
「自律支援のプロセス」
- 14:40-16:10 選択2 家族が行う介助方法の実際
「介護者を支える仕組みづくり」
- 16:20-17:50 選択3 歩行補助具の見直しと装具作成の実際
「移動能力から支える活動と参加」

3日目

- 9:10-10:40 必須12 自立支援や疾病管理の福祉用具や
関係機器、社会資源の活用
「機器等の環境整備と関連する制度」
- 10:50-12:20 選択4 住宅環境調整の実際
「暮らしを据えた環境への支援」
- 13:00-14:30 必須7 訪問サービスにおける理学療法と保険制度
「訪問系リハの理解と課題の整理」
- 14:40-16:10 必須8 通所サービスにおける理学療法と保険制度
「通所系リハの理解と課題の整理」
- 16:20-17:50 必須9 施設サービスにおける理学療法と保険制度
「施設系リハの理解と課題の整理」

4日目

- 9:10-10:40 選択8 在宅で生活する小児の実際
「成長段階に応じた関係者との連携・協働」
- 10:50-12:20 必須3 理学療法介入の意義と理学療法士の役割
「地域における理学療法士の役割」
- 13:00-14:30 必須10 在宅生活の充実と社会参加促進のための
生活期理学療法
「社会参加に向けた多様な支援」
- 14:40-16:10 必須13 発症予防、重症化予防、再発予防
「予防の実践とリスク管理」
- 16:20-17:50 必須15 地域理学療法の将来展望
「運動性の構築と地域リハを担う覚悟」

講師紹介

医療法人真正会霞ヶ関南病院

岡持 利亘

地域リハビリテーション・ケアサポートセンター センター長
介護予防 認定理学療法士 / 日本理学療法士協会理事 / 埼玉県理学療法士会 副会長

岡野 英樹

本部付部長 / 日本リハビリテーション病院・施設協会 事務局長 / 全国デイ・ケア協会 理事

染谷 和久

情報戦略室 室長 / 全国デイケア協会 調査委員会 委員長 / 地域理学療法 専門理学療法士

馬崎 昇司

リハビリテーション部 部長 / 埼玉県理学療法士会理事 / 地域理学療法 認定理学療法士

島田 達也

リハビリテーション部 科長・病棟サブマネジャー / 地域理学療法 認定理学療法士

白子 知

霞ヶ関在宅リハビリテーションセンターサブマネジャー / 地域理学療法 認定理学療法士

尾曲 真一

病棟サブマネジャー / 地域理学療法 認定理学療法士

駒井 敦

地域リハビリテーション・ケアサポートセンター / 地域理学療法 脳卒中 認定理学療法士

大島 大輔

通所リハビリテーションデイホスピタルサービス提供責任者 / 地域理学療法 認定理学療法士

近藤 剛

川越市地域包括支援センター中央にし / 地域理学療法 認定理学療法士

橋本 沙紀

病棟リハビリター / 地域理学療法 臨床教育 認定理学療法士